

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自宅での暮らし方を大切にし、入居後も地域との繋がりを継続していきけるようにとの思いをこめた理念をスタッフ全員で共有している。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフは常に理念を念頭において、日々ケアに取り組んでいる。理念について話し合いを持ち、今年度の目標をスタッフ全員で理念の中から更に具体的な内容にしてケアに取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念の揭示をし、家族との面談時には具体的に説明している。地域の方々にも、様々な催し物の時地域との繋がりを大切にしたいということを伝えて理解していただいている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近くに地区の集会所があり、鍵の保管を依頼されて保管し、集会所を使用される時は住民の方が鍵をとりに来られる。その時には立ち寄っていただいたり、地域の情報なども聞かせていただくなど顔見知りになり、散歩時にも交流を図っている。又畑を借りており、野菜の収穫時も会話が弾み、手作りのお菓子のおすそ分けや野菜をいただくなどの交流もある。	○
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事（生き生きサロンや熟年大学、3世代交流会、赤ちゃん体操クラブなど）に参加させていただいたり、地域の方々が当ホームに来て、踊り、地元の民話の語り、琴、歌などを入居者の皆さんと一緒に楽しく交流を図っている。地域の子供会との交流会（夏休み交流会・五平餅交流会）なども行っている。	○

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>今後は地域の方々を対象に日頃の介護の知識や認知症の方々に対する理解を深めていただいたり、介護予防教室の開催を地域の方々に働きかける予定である（運営推進会議の委員さんに働きかける予定）。災害時の避難場所として使っていただくことも働きかける予定である。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>今後はもっとこの会議の有効活用を図れるように工夫したい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>以前参加できなかったスタッフ全員が研修会に参加できるように、情報の収集を行い参加して個々の日々のケアの振り返りを行ない防止に努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書や契約内容を細かく説明し、説明後もう一度見直して内容を確認していただき、納得して頂いたことを確認している。契約更新時にもう一度内容の認を両者で行なっている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者、スタッフは常に入居者の方々の気持ちを理解するように努め、意見や要望が言いやすいような雰囲気を作り、不満や苦情も相手の気持ちを理解するように努めている。寄せられた意見や要望は会議時などに、話し合いを行い対応している。	○
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康状態についてはその都度電話にて連絡を行ない対応している。暮らしぶりについては面会時などにも報告をしているが、それ以外に月次報告書として事細かに記録し、金銭についても詳細を記入して家族宛に毎月送付して確認していただいている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは常に意見交換が出来るように良好な関係作りに努めている。又相談担当者の設置や投書箱の設置も行い、家族に明示しているが意見や不満を言いにくいこともスタッフ全員で理解し意見が言いやすい雰囲気作りに努めている。御意見はその都度改善に向けてスタッフ全員で取り組んでいる。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ全員で委員会（安全衛生委員・レク委員・研修委員・食品担当・備品担当）を設置し様々な提案をしてもらい業務に反映させている。又各担当とは別に個々に改善提案書にて意見を出す仕組みもある。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	パートスタッフやアルバイトのスタッフがいる、日々の状況（買い物・外出）により勤務スタッフの人数を通常の状態より、多くして対応できるようになっている。又管理者は通常のシフトに入らず対応している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	母体の会社全体で職員の安定化に繋がるように働きやすい職場作り（スタッフ間のよりよい信頼関係作り）などの努力をしているが、待遇面での離職を食い止めることは出来なのが現状である。退職の希望があったときは速やかにスタッフを確保し入居者に影響がないように、1ヶ月間の研修を行ない、その中で引継ぎの期間を十分取り入居者さんや家族に紹介するなどの対応を行なっている		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ全員が研修を受けられるように年間計画を立てて、研修を受けている。スタッフ全員での今年度の研修は医療と薬の知識、リハビリ研修（年6回）ケアマネジメント研修（年3回）救急救命講習など。 法人内にて施設長研修、リーダー研修・スタッフ研修を実施。社外研修にも（センター方式研修会・バリデーションセミナーなどへ）希望者を積極的に参加させている。	○	今後も引きスタッフの積極的な参加を促し、資質向上を図りたい。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の同業者で部会活動を通じて情報の交換や合同での研修会を行なうなどの取り組みを行なっている。又スタッフの研修も受け入れている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフが常に働きやすい職場づくり（スタッフ同士お互いに尊重し合い、信頼関係を築き、楽しく働ける職場であるように、常にスタッフと話し合っている）スタッフから気軽に意見や考えを言い出せる雰囲気を作るように努めている。又年に何回か慰労会も行なってストレスを解消している（会社内での助成制度がある）	○	今後もスタッフが働きやすい職場作りを行なって行きたい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	会社内には資格取得の奨励金制度があり、向上心に繋がっている。又自己の目標を立てて1年間取り組み、取り組みに対しては評価を行い次に繋げられるようにしている。	○	待遇面での改善も向上心を生み出すことに繋がるため、今後に期待して意欲を持ってほしい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の面談を数回行い、御本人の思いや願いを会話の中から聞き取り、センター方式に記入し、入居時には安していただけるような関係づくりを行なっている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族面談には時間を多く取り、家族の意向や不安を汲み取り、不安な気持ちを取り除き、安心していただけるように努めている。又入居者の方々の生活を見ていただき安心につなげている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の相談があった場合は、本人や家族のニーズを把握し、ニーズに対応できないと判断した場合は他のサービスが利用できるように他の事業所と連携を図り情報の提供などを行なっている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の申し込みがあった時点からホームを見学していただいたり、自宅に出向いて信頼関係が築けるように努めている。又ホームで数時間何回か過ごしていただき安心して入居していただけるような配慮もしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフ全員が介護するという気持ちではなく、常に共に過ごし、入居者の方の喜びは自分の喜びでもありやりがいを感じている。人生の先輩であり様々なことを学ぶことが多い。	

岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホーム なかむらの郷

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方との信頼関係を更に深め、入居後も連絡を密にして、情報を提供したり、家族からのアドバイスも大切に、より良いケアにつなげているように努めている。家族の方に協力していただける範囲内で、外出、外泊などの機会もある。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居されることによって家族との関係が疎遠にならないように、ホーム側からさりげなく行事の案内をしたり、日々の様子を報告して気軽に来所していただいている。ホームでの生活の様子を見て安心していただくことにより御本人との関係も良くなっているように感じる。	○	介護者が仕事で忙しいと、どうしても疎遠になりがちであり、もっとホーム側からの働きかけを工夫したい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの場所（生き生きサロン・熟年大学・理美容院・喫茶店・スーパーなど）へは出かける機会を増やし、地域の方々と交流している。又親戚、友人、知人の方達に気軽に訪問していただけるように雰囲気作りに心がけ、プライバシーにも配慮しながら、積極的に働きかけている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者の方々の性格や、その時々状況に合わせて、よりよい関係が保てるように努め、入居者同士悪影響が出ないように常に心配りや見守りを行い支え合いを支援している。	○	認知症が進行したり、性格のためか会話の輪に入らず、孤立気味の方がおり、家族とも相談しながら孤立しないようにスタッフ全員で取り組み中である。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も新しい生活場所を訪問したり、手紙の交換も行い関係の継続に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「24時間365日その人らしく暮らしていただく」事を大切にしており、一人ひとりの願いや思いを日々の会話の中から見つけ出し、情報を共有し入居者の意向を大切に支援している。意向を伝えられない方はセンター方式のシートを使いケアカンファレンスを行って意向の把握に努めている。	○	認知症の進行に伴い、意向を伝えられないことがあり、日々の関わりの中から可能な限り見つけ出して、支援していかなくていけない。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談時から御本人や家族から情報を頂き、入居後も関わりの中から見つけ出したり、家族の方との会話のなかからも見つけ出し、スタッフ間で共有している。(センター方式シート使用)		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活の中で、身体状況の把握を行ない、過ごし方、有する能力に合わせた個別ケアの提供を大切にしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成時や見直し時には本人や家族の意見を頂いた上でケアカンファレンスを行って作成し、確認を頂いている。スタッフがセンター方式の研修会で学び(半数以上のスタッフ)、センター方式シートを活用し、スタッフの気づきやアイデアを記入し、そこから介護計画を作成するようになった。	○	全スタッフがセンター方式を活用できるように内部の研修会(3回)と外部での研修会に3名のスタッフが参加を予定しており、更によりよい介護計画を作成し、日々のケアに取り組みたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	新たな課題や問題が発生した時は、随時話し合いを行い見直しを行なっている。月に1回はモニタリングをも行なって、ケアカンファレンスにて見直しを行い、本人・家族の意見や確認を頂きながら現状にあった介護計画を作成している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録については、現状と影響の原因、気づきを記入できる様式に記入して、スタッフ間で共有し、介護計画に反映できるようにしている。	○	気づきやアイデアを確実に記入して、その情報の中から介護計画まで全員のスタッフができるように取り組みたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の希望に添いながら、特別な外出（市役所などでの諸手続きや買物）・美容院・通院介助などを柔軟に対応している。又母体の会社内からの支援体制も出来ており、各種行事時の応援や研修講師の派遣・食事の配食などの利用ができるようになっている。	○	今後も入居者の方々や家族の要望に添い柔軟な対応を行なって行きたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地元中学の体験学習や市の職員の研修受け入れを行なって交流を図っている。又、運営推進会議の委員には地区の役員さん（民生委員・自治会長・老人会長）がメンバーである。消防署とは訓練や講習などでの支援体制を頂いている。入居者さんの中には地元の文化施設へ月に1回参加され、役員さんと協力して支援している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	市主催のケアマネ部会に毎月参加してケアマネさんたちと情報の交換を行っており、必要な時には他のサービスが利用できるような努めている。	○	今後も更に関係を深めて生きたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	定期的ではないが、近況報告や情報交換を兼ねて交流を図ったり、ケアマネ部会や、GH部会などでも情報交換などを行なっている。	○	今後も更に関係を深めて生きたい。

岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホーム なかむらの郷

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	更によりよい連携を図れるように努めたい。
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	入院されている方がいない時でも情報交換に定期的に訪問していきたい。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	入居者の方々とは終末期について全員の方とは話し合っていないため、取り組み方を全員で検討していきたい。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	スタッフの意識の統一と知識を身につけて取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>住み替えによるダメージを出来るだけ少なくするために、本人や家族の不安感を減らせるように十分な配慮や情報提供を行い、住み替え後も安心して暮らしていただけるように対応している。住み替え後も情報交換を行なうなど交流を図っている。</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者の尊厳やプライバシーを守るとは常にスタッフ間で徹底しており、特に排泄時や入浴時には配慮している。個人情報については入社時に守秘義務についての契約書も交わしており、個人情報の保護についても徹底している。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>スタッフは全員が認知症について何回か学び、一人ひとりに合わせた声かけを行い、本人が自己決定できるように工夫した支援を行い、意思表示できない方には思いや願いを汲みとれるように心がけ、スタッフ全員で情報を共有し支援している。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日々の生活の中で一人ひとりの思いや願いの把握に努め、個々のペースにあわせた対応を心がけて支援している。その日の状況でスタッフ側の都合で動かず、入居者の希望に添い散歩や買物などの支援を行っている。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>外出時は少しお洒落（着替えや化粧）をしていたり、美容院は以前から利用してみえたお店にスタッフが付き添ったり家族の方と出掛けていただいている。</p>	

岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホーム なかむらの郷

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>今後もスタッフ全員が共に過ごすことを大切にしていきたい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>睡眠障害のある方があり、そんな時はスタッフがそっと見守り、安全を確保しながら対応していきたい。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホーム なかむらの郷

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物に行く機会を増やし、支払いが出来る方には、財布を持っていただき自分の必要なものを買っていただいている。支払いが出来ない方もスタッフが出来ないところをさりげなく支援している。家族の方と相談し、本人が小額持って見える方もある。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のよい日は、玄関先の花の水やりや野菜の収穫を兼ねて畑まで行ったり、周辺を散歩して気分転換をしていただいている。ベランダや芝生に出てお茶を楽しんでいただいたり、ゲームなどを行なうことも多い。近くにはスーパーやドラッグストアがあり、買物に行く機会も増えている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月々の計画を立てて、外出し（花の見学・喫茶店・外食・自宅訪問）など希望に合わせて行っている。入居者の中には以前信仰していたところへのお参りも行かれるためスタッフが同行することもある。家族とも外食・温泉・自宅に行かれる方もある。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望があるときは、いつでも自由にかけていただいている。入居者の中には携帯電話を持って見える方もあり、自由にかけてられるようになっているが使い方が解らず、支援することもある。ホーム側から家族に郵送物があるときは、声をかけて手紙を同封することもある。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	夜間以外は時間の制限をせず、家族や友人がいつでも気軽にホームを訪問して頂けるような雰囲気作りが心にかけている。訪問していただいた時も気持ちよく過ごしていただけるようにしている。又泊まっていただくこともできるようにしており、泊まれる方もある。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	殆どのスタッフは、身体拘束については研修会に参加し具体的に学んでおり、自己のケアの振り返りを行い、日々とりくんでいる。安全の確保の為にやむを得ないときもあり、その時は必要になった経緯を記録に残し家族に確認を取ることになっている。見直しも随時行なうことにしている。	○	今後も研修会の機会があれば参加していきたい。

岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホーム なかむらの郷

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関チャイムがあり夜間を除き出入り自由になっている。玄関に通じる事務所前の廊下にはセンサーを設置し事務所が不在の時作動するようになっているが、できるだけスタッフで見守ることにしている。玄関から外に出て行かれてもスタッフが後ろから見守るなどの対応をしている。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフは常に注意を払い入居者さんの安全に配慮している。スタッフ同士の声かけや気配りを行い、プライバシーにも配慮しながら、所在の確認や安全確認を行なっている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品などは鍵のかかる場所に保管しており、石鹸や手指消毒用のアルコール類などは、入居者さんの状態に合わせて、随時検討しながら管理を行っている。刃物類は見えない場所に保管し危険を防ぐような配慮をしている。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒報告書やヒヤリハットの報告書にてスタッフ会議で今後の再発防止を話し合い、再発を防ぐよう取り組んでいる。誤薬についても確認を行なうことを徹底している。火災については防火管理者が主になり、消防署と連携し通報訓練・消化訓練・避難訓練などを年に何回か行い、総合防災訓練も年1回行っている。	○	現在歩行が不安定で、特に寝起きの時の転倒の危険の高い方には、夜間帯だけフットコールでの対応も行なっている。身体機能の低下予防の為に、理学療法士を講師に依頼し、月に1回リハビリについて学び、身体機能の低下を防ぎ、転倒の防止につなげている。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全員のスタッフが消防署にて救急救命講習を年1回受け応急手当の方法や初期対応を身につけ事故発生に備えている。又かかりつけ医による研修も受けている。緊急対応マニュアルも作成しフロアに掲示している。	○	今後も定期的な講習や学習を行なって行きたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地震と火災を想定した総合訓練も年1回計画しスタッフ全員参加で行なっている。又地域の方々の協力体制も得られ、連絡網も自治会長さんを中心に作っている。災害時のマニュアルやチャートも作成している。	○	今後は地域の方々の参加をお願いして訓練を行いたい。又日頃の地域との関わりを大切にし緊急時には協力を得られるようにしていかななくてはと感じている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族との連絡を密にすることで頼関係を築き、予測されるリスクについても気軽に話し合うことができている。福祉用具の提案も行なっている。スタッフ全員で常にリスクについての話し合いも行なっていて安全に配慮している。	○	安全な生活が送れるように今後も引き続き取り組んでいきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	スタッフは日々の体調の観察や気づきを大切にしており、少しの変化でも情報を共有し、主治医に相談したり受診により早期対応に努めている。又准看護師が2名おり早期発見にも繋がっている。	○	スタッフの知識を更に高められるように医療の知識の研修会へ全スタッフの参加も予定している。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用についてはファイルで確認できるようになっており、一人ひとりの内容も薬のケースに整理して貼ってあり、しっかりと把握し投薬時には確認を行い投薬ミスをなくすように徹底している。	○	薬の知識を得るために、医師や薬剤師による研修を引き続き計画していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	スタッフ全員が便秘の及ぼす影響を理解しており、食事・水分・運動に常に注意を払い便秘の予防に努めている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個々の状況に合わせた声かけと見守り、介助を毎食後行い、口腔内の清潔を保ち、定期的な歯科受診も行なっている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	会社内部の栄養士の献立をヒントに献立を立てている。食事量も一人ひとりに合わせた量を提供し、水分量も1日の必要量をスタッフ全員が把握しており、チェック表に記入するなど常に注意を払っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対する研修会も年間行事の計画に入れてあり、安全衛生委員会を中心に研修も行き、マニュアルも作成し、予防に努めている。ノロウイルスについては発生時を想定し嘔吐物の除去方法も内部研修で学んでいる。（社内から講師の派遣を受けた）		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は毎日消毒を行い、食中毒の予防については予防のためのマニュアルがあり、スタッフ全員で衛生管理を徹底している。食材も毎日新鮮な食材を購入し、保管は2つの冷蔵庫を使い分け、賞味期限も毎日チェックして衛生管理を行っている。	○	会社内には安全衛生に関するチェック体制もあり、年に何回か安全衛生巡視も受けて、指摘を受けた場合は改善策を提出しなくてはならない。今までに冷蔵庫の取っ手の汚れ以外に指摘を受けたことはない。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	一般家庭と同じような雰囲気にして、玄関先には季節の草花を入居者の方々と一緒に植えて手入れしており、清掃も毎日入居者さんと一緒に行なっている。玄関内には絵画や季節感の感じられるものを飾るなどの配慮も行なっている。又珍しい南極の石も置いてあり、来所された方との会話も弾むことが多い。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音や光にはスタッフ全員が常に注意を払い快適に過ごしていただけるように配慮している。又玄関先には、季節の花を植え、ホーム内には季節の貼り絵や花をかざったりして、季節を感じていただけるように工夫している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内には、2箇所ソファを置いてあり、気のあった人同士が和やかにすごされることが多い。、又屋外にもベンチを置いたり、玄関先にも椅子やベンチを置き、好きなどころで過ごせるようになっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

私たちは常に心穏やかな気持ちで入居者の方々と接し、願いや思いを汲み取り、安心と安全な生活を提供できるように日々のケアに取り組んでいます。入居者の方々の生活を通して家族の方にも安心して頂き、家族と共に入居者の方々を支えて生きたいと考えています。よりよいケアを提供するためにはスタッフ間の信頼関係がもっとも大切と考え、今まで取り組んできました。スタッフ全員がお互いを思いやることを大切に気持ちよく働ける雰囲気職場となり、入居者の方々の穏やかで笑顔の耐えないホームとなっています。入居者の方々や家族に満足していただけるホーム、そして自分たちの親、兄弟、自分でも入居したいホーム作りを目指しています。